

知っているようで  
案外知らない

クルリンの  
教えて！  
子ども会

### 子ども会ってなに？

主に自治会単位で構成されています。同じ地域に住む年齢の異なる子どもたちが、一緒に遊んだり活動することで、協力する必要性やお互いに思いやることの大切さを学ぶことができます。集団経験の中で子どもたちが自分で考え、主体的に活動することを目的としています。

### 育成会ってなに？

地域の方との連携や調整を行い、子ども会の行事や活動を見守りサポートするのが、子ども会育成会の役員です。残念ながら高学年の加入者が減り、育成会の役員が主体となって、行事の運営をするところが多くなっています。

### どんな活動をしているの？

子ども会によって異なりますが、多くの子ども会では新入生歓迎会やラジオ体操、クリスマス会、ボウリング大会、地域のお祭りや行事に参加しています。人数や地域によって様々な行事が行われています。

### 子ども会加入のメリットはなに？

子どもだけでなく、親も自分の住む地域の方々と知り合うことで、地域を知る事ができます。地域に知り合いがたくさんいることは子どもを守り育てる上でとても大切なことです。緊急時や災害時など助け合う事ができるだけでなく、子どもが社会人として成長するために必要な、お互いを尊重し助け合う心を育てることができます。

### 役員って大変でしょ？

よくそんな言葉を耳にしますが1年終わってみると「やってよかった」という意見も聞きます。子どもたちの活動を近くで見ることができ、普段一緒に遊ばない子どもともどんな風に接しているか見ることができます。また他学年の子どもたちが顔と名前を覚え、声をかけてもらったり、他学年の保護者の方とも知り合いになれるので、いろいろな情報を聞くことができます。やればきっといい経験になります。

子ども会活動で学んだ体験や地域の方に教えていただいたことは、机の上では学ぶことのできない、子どもたちの貴重な財産になることでしょう。また、地域の方と触れ合う親の姿を見て、子どもたちも地域との関わり方を自然に学ぶことができるのではないのでしょうか。役員が大変！と敬遠せず、短い子育ての時期子どもたちと一緒に考え、子どもたちと一緒に楽しめる時間を増やしてみませんか？一緒に子どもたちの成長を見守っていきましょう！

### ☆☆☆会長ご挨拶☆☆☆

どうしたら子ども会を活性化できるか。どんな活動をしたら子どもたちが参加してくれるのか。そんな悩みをよく聞きます。子ども会って小学生だけのものだと思いませんか？全国子ども会連合会では「就学前3年の幼児から高校3年生年齢相当までを構成員」としています。これからは中学生になって子ども会を卒業してしまうのではなく、地域の子どものリーダーとして、子ども会活動に参加してくれるように声掛けしていくことも大切だと思います。また、今回指導者研修会を企画するにあたり、役員と子どもと一緒に体験をして、一緒に楽しみ、研修後にそれぞれの子ども会で実践してもらえるような研修会にしたいと思っていました。じゃんけんやおにごっこなど、誰もが慣れ親しんだ遊びを基本として、アイデアを加えることで遊びはどんどん変化していきます。その変化を一緒に楽しめる環境が今、求められているように思います。難しいことではなく「一緒に遊ぼう」という言葉が一番必要なのかもしれません。子ども会の規模や人数に応じて、子どもも役員も楽しめる子ども会活動ができるように、私たちはこれからも一緒に考えたいと思います。



伊勢原市公式イメージキャラクター  
クルリン

☆広報紙作成にあたり☆ 次回3月号では、各地区や単位子ども会の活動紹介を中心にご紹介したいと思います。子どもたちの笑顔あふれる活動写真をご期待ください！♪（広報部会）

子ども会への入会希望・ご質問・お問い合わせは、各単位子ども会・地区子ども会または、青少年課までお問い合わせください。伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 事務局 伊勢原市子ども部青少年課 伊勢原市役所 5階 5番窓口 TEL: 0463-94-4647

## 元気に！楽しく！子ども会活動 June.2019 ～子どもも大人もみんなまで遊ぼう～

6月29日（土）に伊勢原市役所となりの行政センター体育館において、神奈川県立青少年センターの川手隆生先生、大山寛先生と神奈川県ユースサポーターをお招きし「遊び」をテーマにした指導者研修会を開催しました。研修会といっても講義・座学ではなく、特別な道具が無くてもできる「遊び」をたくさん紹介してもらい、それを実際にやってみたり、班で「遊び」を考え他の班に教え合ったりするという内容です。子どもも大人も学びながら一緒に楽しい時間を過ごしました。



研修会の受付のときから、元気に笑顔で走り回る子どもたちや、まだ研修に参加できない幼児たちも、お絵描きなどをしながら徐々に雰囲気慣れ、幅広い年齢の子ども同士で仲良くなっていました。



今回教わった「遊び」の中でもチーム戦による「道場破りジャンケン」は特に印象に残りました。ジャンケン自体はルールもシンプルで2人でもできますが、チーム戦にすることで人数が多ければ多いほど楽しく、それぞれの子どもの規模や場所に依って楽しむことができると感じました。



子ども会でテーマパークに行くなど、大きなイベントも良い思い出になりますが、子ども会本来の目的である「子どもの健やかな成長」のために特別な道具や事前準備の要らない「遊び」を数多くやってみることは、大事ではないでしょうか。子どもたちが自ら考え行動し協調しながら「遊ぶ」ことの積み重ねは、自主性や自由な発想を促し、知らず知らずのうちに貴重な成長の糧となり、大人になってから様々な場面で求められる相手を思いやる心や、更には生きる力を育むことにもつながるはずで



このような大切な事に気付かせてくれた先生方やユースサポーターに感謝するとともに、初めて出会う子どもたちや保護者のみなさんと、楽しい時間を過ごすことができた研修会に、また参加できればと思います。

高部屋地区 秋山修一

神奈川県ユースサポーターって？  
子ども会やジュニアリーダーなど、様々な研修を重ねて、地域事業に貢献している、大学生や社会人の若者たちです。  
地区単位であれば行事のサポートの依頼ができます。詳しくは青少年課へお問い合わせ下さい。



研修会ということで、身構えて参加しましたが初めて会った他地区の方と、協力しながら限られた時間の中で遊びを考え伝えるうちに、子どもの頃の気持ちや遊びを思い出し、いつの間にか童心にかえって楽しんでいました。大掛かりな準備や道具がなくても皆で楽しめるのだと改めて気づき、今後の子ども会活動にぜひ生かしていきたいです。 竹園地区 佐藤菜穂

『子どもも一緒に参加できる場所がいいですね』と、参加された方から声をかけて頂きました。グループになって遊びを作った時には、素晴らしい遊びが沢山完成し、皆さんのアイデアに感心しました。作った遊びを子どもたちが楽しそうにやってくれたことがうれしかったです。 緑台地区 芦川裕子



## ふれあい工作ランド 花みこしを 作っちゃおう!



8月24日(土)行政センター体育館において、工作ランドが開催されました。その中で市子連では、大きな花みこしを作って、道灌まつりのちびっこみこしパレードで「みこし」を担いじゃおう!と呼びかけ、たくさん子どもたちに花紙で花を作ってもらいました。

徐々にみこしに花が付き、姿を変えていくのを見て「もっと作りたい」「初めて作ったよ」「さっきよりきれいにできたよ」と、ほとんどの子どもたちがいくつもの花を作ってくれました。一つ一つの花は小さいけれど、みんなの花が一つになれば、こんなに大きな花を咲かせることができるんですね。また simizzy こと清水顧問の「ジャイアントフラワー」が、みこしをさらに彩ります。

10月6日(日)の道灌まつりでは、大小2つの花みこしを子どもたちと元気に担いで、おおいに楽しみたいと思います。



ふれあい工作ランドみたいに、何か作ったりするイベントは、子ども向けの楽しい一日で、夏休みの思い出のひとつになる。何かをつくる行為は表現であって、そこからはじまる興味や驚きや経験が自分の中に生まれるきっかけでもあると思うのです。だから今までにないものや、何だかわからないものをみんなで作ってみたいと思い、去年は空き缶クルクル風車みこしを作り、今年は花みこしをつくりました。そこには大人も子どもも感じる「ワクワク」があったたくさんの「笑顔」がありました。どんな花みこしが出来たのか? 道灌まつりをお楽しみに!

simizzy 清水一忠

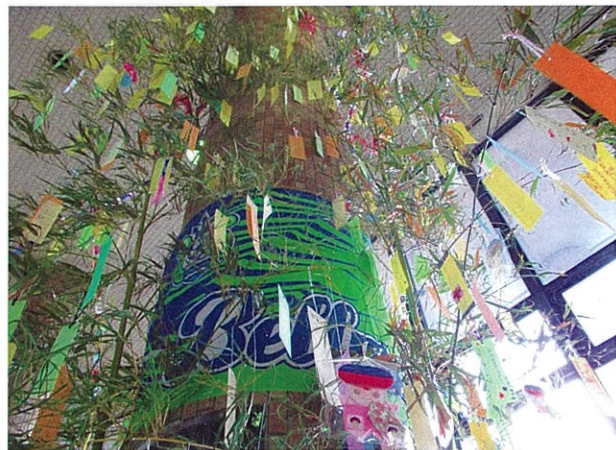


## 七夕かざり ~みんなの願い空へとどけ~

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会では、子どもたちに日本の年中行事に親んでもらうため、毎年七夕飾りと短冊の募集をしています。今年は7月1日から8日まで、市役所ロビーと子ども科学館入口に展示させて頂きました。

かわいらしい子どもたちのお願い事だけでなく、中高大学生や父母、祖父母、外国の方など、多くの方から願いが寄せられました。皆様の願い事が叶い、平和な世の中になりますように。

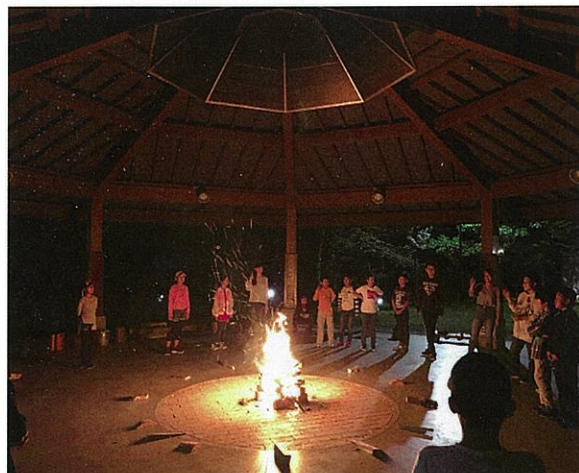
高部屋地区 山田美香



## インリーダー・ ジュニアリーダー 合同研修キャンプ

8月22日(木)~23日(金)秦野市表丹沢野外活動センターにおいて、インリーダー・ジュニアリーダー合同研修キャンプが行われました。朝のうち少し緊張気味だったインリーダーたちですが、バスの中でのジュニアリーダーによるレクリエーションで、次第に笑顔になりました。

午前は會田先生によるパステルアート工作で、貝殻やパステルを使って、夏らしいフォトフレームを作ることができました。みんなでお弁当を食べたあとは、ジュニアOBである神名部さんの、野外炊事やキャンプファイヤーに向けての研修です。ジュニアリーダーからの調理手順の説明の後、班ごとに分かれてキャンプファイヤーでの出し物を考えて練習し、火のおこし方や注意事項を教えていただきました。



出来上がったカレーはどれも美味しく、他の班のカレーを食べ比べては、自分たちの班で作ったカレーが一番美味しいと、みんな笑顔いっぱいでした。

その後のキャンプファイヤーは大盛り上がりでした。中でもCCファミリーではみんなの気持ちが一つになりました。夜の山に響き渡るその歌声はいつまでも心に響き、思い出に残ることでしょう。

今回ジュニアリーダーは「主催者」として、インリーダーたちは「仲間」として、それぞれがこの2日間で多くを学んだことを感じました。振り返りの中で「今回できなかったことを次はできるようにする」ということ、学校では体験できない2日間での大きな成長を感じ、来年のキャンプが楽しみになりました。

大田地区 磯部千津子



### 令和元年度役員

- 会 長 磯部千津子 (大田地区)
- 副会長 黄塚 溪 (大山地区)
- 柏 尚子 (高部屋地区)
- 兼会計 木村由紀子 (伊勢原地区)
- 書 記 大知ちえみ (成瀬地区)
- 佐藤 菜穂 (竹園地区)
- 監 事 山田 美香 (高部屋地区)
- 芦川 裕子 (緑台地区)
- 理 事 八島 満雄 (石田地区)
- 中田 俊彦 (高部屋地区)
- 秋山 修一 (高部屋地区)
- 顧 問 清水 一忠 (大山地区)



## 折り鶴にこめられた 平和への祈り

折り鶴は日本の伝統的な文化である折り紙の一つです。今日では平和のシンボルと考えられ多くの国々で平和を願って折られています。市子連では年間を通して折り鶴を募集し集まった折り鶴は子どもたちの健やかな成長と、世界平和の祈りを込めて原爆の子の像へ奉納しています。

夏の開放教室の際に折り鶴を作ったという竹園地区の大子子ども会では、初めて鶴を折る子に高学年の子たちが折り方を教えてあげる姿も見られました。

折り鶴の受け入れ窓口は市役所5階青少年課。みなさんも想いを込めた折り鶴と一緒に届けてみませんか。竹園地区 齊藤安公子